

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒660-0891 兵庫県尼崎市扶桑町 1 番 10 号 住友精密工業(株) 本社内
TEL. 06-6489-5861 FAX. 06-6489-5905

第 8 6 回理事会開催

第 86 回理事会が、4 月 19 日（金）の 15：30～16：50 までの間、「ザ・プリンスさくらタワー」（高輪）2 階カンファレンスフロアで開催されました。初めに事務局から理事の出席状況について理事総数 29 名のうち、出席理事 19 名及び監事 2 名の出席があり、定款の定めるところにより本理事会が有効に成立していること、議長は石川会長が行うことを説明し審議に入りました。石川議長は議事録署名人として会長である本人と監事の松井氏及び古川氏の両名を指名し、その後、事務局に第 1 号議案の説明を求めました。

事務局は、平成 30 年度事業報告書及び決算報告書（案）について、資料 1-1 号、資料 1-1-

1 号及び資料 1-2 号に基づき、①最新の国際情勢、技術動向等会員の求める情報の収集・発信、②産学連携事業の一層の充実・活性化、等の重点事業を主体に事業報告を行った。



第 86 回理事会

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第 86 回理事会の開催	1	技術調査事業	5
平成 30 年度の業務・会計監査実施	2	広報・PR 事業	5
委員会開催・活動状況		中小企業関連事業	5
国際交流事業	2	会員ニュース	6
標準化事業／ISO 事業	3	工業会ニュース	6
標準化事業／規格事業	3	統計資料	9

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL <http://www.jfpa.biz/>

次に、これらの事業の実施に伴う予算の執行状況等決算報告書(案)について、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書等を基に、事業活動収支差額が1,600万円強の黒字になったこと、退職給与引当のため240万円強の支出により、当期収支差額が1,400万円弱の黒字となったこと、これに前期繰越収支差額7,600万円強を加えることにより、次期繰越収支差額が9,000万円弱になったことを説明した。

次いで、議長は監事による監査報告を求め、松井監事から「適正である」旨の監査報告があった。

議長は第1号議案を議場に諮ったところ、議場の協理事より「空気圧の出荷統計値に2種類の数値がある理由」について質問がなされた。事務局は、「統計集計方法の違いによるものの誤差であり、今後対応を検討する」と回答した。議長は改めて第1号議案を議場に諮ったところ、全員異議なく原案の通りこれを承認可決した。

第2号議案 会員の入退会について

事務局は資料2号に基づき賛助会員・日本伸銅(株)の入会、賛助会員・サンテスト(株)の退会の件を報告した。議長は第2号議案を議場に諮ったところ、全員異議なく原案の通りこれを了承した。

第3号議案 2019年度予算書見直し(案)について

事務局は資料3号に基づき「2019年度収支予算書見直し(案)」に関して、1月の理事会で承認を受けた収支予算書(案)のうち受託事業及びJKA補助事業等の額が決定したことにより、事業活動収入計が1億3,200万円弱となり、事業活動支出額が1億3,000万円弱となるため、当期活動収支差額247万円強となる。これに、投資活動収支差額マイナス300万円と前期繰越収支差額9,000万円弱を加減算して、次期繰越収支差額が8,900万円強となることを説明した。

議長は第3号議案を議場に諮ったところ、全員異議なく原案の通りこれを承認可決した。なお、本件は5月16日に開催される第20回定時総会で報告する。

ここで遅れて御臨席いただいている産業機械課の渡部係長殿より、「製造業を巡る環境変化に対する課題と方向性」についてのご説明を兼ねた挨拶をいただいた。

第4号議案 2019年・年度油圧空気圧機器需要見直しについて

事務局は資料4号に基づき「2019年・年度油圧空気圧機器需要見直しについて」を簡単

に説明した。

さらに、事務局は、参考資料を基に、①出荷動向、②今後の主要日程についての報告を行った。

その後、産学連携事業として、(一社)日本フルードパワーシステム学会の理事の先生方等6名を交えた懇親会を開催し、和気あいあいのうちに散会しました。

平成30年度の業務・会計監査の実施

日時 4月12日(金) 10:00～11:50

場所 当会会議室

出席者 松井監事・古川監事

事務局 藤原、鎌原、

議事

平成30年度事業及び決算に関する監査が4月12日(金)の午前中に当会会議室で行われた。当日は、(株)マツイの松井相談役及び古川税理士の両監事に対し事務局から「平成30年度の1.事業報告書、2.貸借対照表、3.正味財産増減計算書、4.財産目録、5.収支計算書、6.財務諸表・収支計算書に対する注記(附属明細書)の(案)を詳細に説明した。

その後、両監事はパソコンを含む諸書類及び諸帳簿並びに残高証明書等を詳細にチェックし、正確・適正に処理されている旨の講評がありました。

委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~

#### 国際交流事業

~~~~~

ハノーバーメッセ視察団2019の実施 及びISC国際統計委員会、国際サミット会議出席

ドイツのハノーバーで開催された恒例のハノーバーメッセと欧州進出の日系企業の視察を兼ねた欧州視察団が4月2日(火)に出発した。今回の視察団は、南暢団長((株)バルカー研究開発本部チーフエンジニア)・仙田雅晃副団長(廣瀬バルブ工業(株)品質保証課)以下会員企業8社の若手社員11名と事務局 唯根、添乗員の総勢13名が参加し、旅行中大きなトラブルもなく4月11日(木)に無事羽田空港に帰国した。

視察団は、日程の前半にハノーバーメッセ展の広い会場をある程度テーマを分担し絞って視察を行った。後半はアマダ板金加工機フランス工場、豊田自動織機フォークリフト組立フランス工場、を視察し、最近の欧州の経済動向等について詳細

な説明を受けた。

また4月3日の午後にメッセ会場内の会議室でISC 国際統計委員会及び国際サミット会議が開催され、国際委員会から新開委員長、澤田委員、渡部委員及び事務局 唯根、堀江が出席した。

ISC 統計委員会は14団体・28名、国際サミット会議は14カ国以上・約60名が参加し、各国工業会と情報を交換し交流を深めた。

これらの詳細については、5月16日に報告会を開催し、6月に報告書を発行するのでそちらを参照して頂きたい。



ハノーバーメッセ 2019 会場入口にて



ISC 国際統計委員会参加者の集合写真

標準化事業／ISO 対策事業

* ISO の動き

発行された ISO 規格

(TC131)

ISO 6149-1:2019, Connections for hydraulic fluid power and general use -- Ports and stud ends with ISO 261 metric threads and O-ring sealing -- Part 1: Ports with truncated housing for O-ring seal

投票に付されている ISO 規格案 (FDIS, DIS)

(TC131)

ISO/FDIS 4409, Hydraulic fluid power -- Positive-displacement pumps, motors and integral transmissions -- Methods of testing and presenting basic steady state performance
ISO/DIS 10770-3, Hydraulic fluid power -- Electrically modulated hydraulic control valves -- Part 3: Test methods for pressure control valves

標準化事業／規格事業

JIS 原案作成本委員会

日時 4月4日(木) 13:30~17:00

場所 機械振興会館 6-62 会議室

出席者 北川委員長以下 12 名

事務局 前畑

議事

北川委員長(東京工業大学名誉教授)開会挨拶、委員自己紹介の後、「JIS B 0125-1 (油圧・空気圧システム及び機器-図記号及び回路図-第1部:図記号)」の JIS 原案の審議を行った。審議の結果、技術的に問題となる事項は特になく、各委員からの指摘事項について修正した後、日本規格協会へ提出することとした。

空圧信頼性分科会

日時 4月12日(金) 13:30~16:00

場所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 中曽根主査以下 3 名

事務局 前畑

議事

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、JIS B 8672-1 (空気圧-試験による機器の信頼性評価-第1部:通則)の改正について審議した。前回分担した範囲に基づき、対応国際規格 (ISO 19973-1) 原文と比較しながら原案修正作業を実施した。その中で、ISO 規格では統計計算の数値等の根拠が明確でなく使用者が混乱する恐れがあるため、JIS ではその点を改善した内容として改正していくこととした。

次回開催:7月12日、機械振興会館

空気圧制御技術分科会

日時 4月17日(水) 13:00~16:00

場所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 渡辺主査以下 4 名

事務局 前畑

議 事

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、H30 年度活動実績と 2019 年度活動計画について討議した。今年度も引き続き空気圧機器のインターフェースに関する用語の制定を取り上げることとした。

次いで、空気圧機器と上位機器とのインターフェースに関する用語の制定について、JFPS にまとめるための構成等について討議した。検討完了した用語一覧表に基づき、次回までに原案を作成することとした。

次回開催：10 月 3 日、機械振興会館

油圧システム分科会

日 時 4 月 19 日(金) 13:00~16:00

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 町田主査以下 6 名

事務局 前畑

議 事

委員の交代があり、渋谷委員（東京計器）が土岐委員に交代された。

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、本年 5 月に開催される ISO パリ会議について、関連する WG 会議のアジェンダが発行されたため、内容の確認を行い、関連アイテムの対応について討議した。

次いで、JIS 原案作成本委員会（4/4）の報告がなされた。修正箇所の指示方法、各図記号説明の整合性、引用文献の明確化等について指摘があったが、問題となるような技術的な指摘は特になかったとのこと。指摘事項を修正の上、規格協会に提出することとした。

次いで、ISO 1219-3:2016 (Fluid power systems and components -- Graphical symbols and circuit diagrams -- Part 3: Symbol modules and connected symbols in circuit diagrams) の JIS 化について、ISO 規格の内容確認と進め方について意見交換した。

最後に、H30 年度活動実績と 2019 年度活動計画について討議した。2019 年度は、特に ISO 1219-3 の JIS 化について新規に取り上げることとした。
次回開催：7 月 19 日、機械振興会館

空気圧システム分科会

日 時 4 月 24 日(水) 13:00~16:00

場 所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 増尾主査代理以下 6 名

事務局 前畑

議 事

主査の交代があり、増尾主査（CKD）から門間主査（コガネイ）に交代された。ただし今回は都合により欠席のため、増尾前主査が議事進行を行った。

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、JIS 原案作成本委員会（4/4）の報告がなされた。指摘事項を修正の上、規格協会に提出することとした。

次いで、H30 年度活動実績と 2019 年度活動計画について討議した。2019 年度は、特に JIS B 0125-1 を参照している JFPS 2011（空気圧図記号の実用指針）の改正を取り上げることとした。

次回開催：7 月 26 日、機械振興会館

空気圧調質機器分科会

日 時 4 月 25 日(木) 13:00~16:00

場 所 機械振興会館 B3-8 会議室

出席者 國崎主査以下 5 名

事務局 前畑

議 事

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、H30 年度活動実績と 2019 年度活動計画について主査より報告があり、特に問題なく承認された。

次いで、5 月開催の ISO パリ国際会議のアジェンダについて確認した。日本から提案しているサイレンサ規格 ANNEX(normative) に関して審議されることになっている。

最後に、JIS B 8372-2（空気圧-空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁-第 2 部：供給者の文書に表示する主要特性の試験方法）改正について、前回に引き続き、対応国際規格（ISO 6953-2）との対比しながら修正作業を行った。

次回開催：6 月 5 日、機械振興会館

水圧システム分科会（第 1 回）2019

開催日 4 月 26 日（金）

場 所 機械振興会館 311 号室会議室

出席者 大林主査以下 4 名

事務局 宮川、前畑、大橋

議 事

宮川国際標準化推進室長の開会挨拶の後、議事に入った。

1. 水圧システム分科会の位置づけと主要業務
ADS 国際標準化推進委員会の活動成果に基づき、昨年（2018 年）10 月に ISO/TC131 に新規提案を行い受理されたため、国内審議組織体として当分

科会を設立した。設立第1回の委員会として、工業会における標準化委員会—企画部会—同分科会の位置づけ、ISOの各SC、WGと担当分科会、及び新規プロジェクトの受理からISO制定までの段階、国際規格の模範文書などを事務局から説明した。

2. ISO/TC131-WD “ポンプ性能測定方法”とISO会議への対応

配布資料に基づき、トルコのISO委員より提示されたコメントへの回答書と、その検討経緯を説明した。また、ISO提案前の国内規格案 JFPS 2026:2018 を和・英対応頁版として作成中であることを報告した。今後、解説を加えて完成させ、5月のパリ会議に参考として持参する。

3. ISO提案テーマの検討と進め方、概略日程

2019年度の国際標準化推進委員会の大日程計画案を基に、今後のISO追加提案のテーマと進め方、推進委員会との連携などについて説明した。

4. その他

次回は6月開催を目途に日程調整を行う。

~~~~~  
技術調査事業  
~~~~~

技術委員会空気圧部会第558回特許分科会

日時 4月19日(金) 13:00～17:00

場所 機械振興会館 B3-9 会議室

出席者 細田幹事以下4名

事務局 吉田

議事

前回議事録を確認した。公報の検討と無効理由調査について継続審議中の案件を審議した。2件については引き続きウォッチングしていくこととした。4件については引き続き調査することとした。

平成30年度収支明細、2019年度予算案を確認し、承認された。30年度活動報告について確認し承認を得た。

次回開催：5月24日(金) 機振会館 6-61 会議室

~~~~~  
広報・PR事業  
~~~~~

第96回編集委員会

日時 4月12日(金) 15:00～17:00

場所 機振会館 B2-2 会議室

出席者 手塚委員長以下11名

事務局 大橋

議事

坂井委員長から引き継がれた手塚隆新委員長の挨拶の後、宮主査の司会により議事に入った。

1. VOL. 33, NO. 1 (新年号)～NO. 3 (夏号) 報告

前回委員会以後に発行した新年号と春号(4月15日入荷予定)の頁数、印刷数、記事の傾向等を説明した。夏号は、記事数が多いため解説記事のいくつかを執筆者の了解を得て来年新年号以降に移したこと、及び記事入稿状況を報告した。

2. VOL. 33 秋号、VOL. 34 年間企画と記事提案

2019年及び2020年の年間企画表にて、記事の傾向を説明した。本年秋号には、新年号で企画した「フルードパワーにおけるIoT特集」の2回目として4記事を予定し、IoT関連の解説記事も集中して掲載する。このため、「技術講座」と「ミニ知識」は、来年新年号から再開することとした。うち、ミニ知識は“油圧ホース”のテーマでブリヂストン(株)に寄稿依頼済みである。「ずいひつ」「次世代F.P.」も、年間を通してほぼ寄稿者が決まったため、「身近なF.P.」「F.P.の挑戦」等の提案を期待し、編集委員による新記事提案検討結果の説明を受けた。

3. 2018年度の評価反省と2019年度計画案

宮WG主査から、昨年度実施結果報告、及び本年度予定、重点項目の説明がなされた。本年度は、執筆要領、原稿確認関連の規程を完成させる。

4. その他

次回委員会の日程を確認し、記事の傾向と集め方、関連して委員の固定化の問題点などについてフリートークキングを行った。

・第125回WG 6月6日15時、機振会館 B3-7

・第97回編集 10月18日15時、伊豆高原ユートピア

~~~~~  
中小企業関連事業/その他事業  
~~~~~

第1回中小企業委員会

日時 4月24日(水) 15:00～17:00

場所 機械振興会館 5S-1 会議室

出席者 杉村副委員長以下15名

事務局 藤原、堀江

議事

1. 講演

杉村副委員長の挨拶の後、トーヨーカネツ(株)(以下TKSL)エグゼクティブ・フェロー 木本裕司

様から「TKSL が実現する AI/IoT/DX」と題して AI/IoT 関連の講演頂いた。



講演風景

講演の概要は以下の通り。プラント・物流事業の TKSL 殿に於いて人手不足対策、物流の効率化、予知保全を実現する為、AI/IoT への取組を行っておりその施策について詳細な説明があった。

2. 出席各社の現況及び IoT 取組状況報告

各社の景況感及び IoT 取組状況等について報告があった。

3. 事務局から 2019 年・年度油圧・空気圧需要見通しについて概要を報告した。

次回開催：7 月 10 日（水）を予定

~~~~~  
会員ニュース  
~~~~~

☆代表取締役の交代
(正会員)

住友精密工業（株）から社長交代の連絡がありましたのでお知らせします。

住友精密工業株式会社 2019 年 4 月 1 日

(新任)

社長執行役員 高橋 秀彰

(退任)

取締役 田岡 良夫

☆社名変更・本社変更
(賛助会員)

住商鋼管(株)から、合併に伴う社名変更・本社変更・代表取締役変更の連絡がありましたのでお知らせします。

(新社名)

住商メタルワン鋼管株式会社 2019 年 4 月 1 日

(新代表取締役)

代表取締役会長 内藤 統夫

代表取締役社長 及川 毅
(本社)

〒100-0005

東京都千代田区丸の内 3-3-1

新東京ビル 5 階

TEL : 03-5220-0219

FAX : 03-3211-8874

~~~~~  
工業会ニュース  
~~~~~

☆5 月よりクールビズを導入

当工業会では、本年も 5 月 1 日（水）～9 月 30 日（金）までの間「クール・ビズ」を導入しますのでお知らせします。期間中の工業会開催の会議への出席については、軽装（ノーネクタイ・ノー上着等）でご出席下さい。なお、経済産業省からも同期間中は「クールビズ」を導入することと、同省への訪問も「クールビズ」でよいとのこととです。

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

*2019 年

☆5 月 16 日（木）2019 年度（第 20 回）定時総会

(時 間) 15:30～16:50

(場 所) 東京プリンスホテル芝公園
サンフラワーホール

同懇親会場

(時 間) 17:00～18:30

(場 所) 東京プリンスホテル
マグノリアホール

☆5 月 17 日（金）第 58 回 JFPA 懇親ゴルフ会

(場 所) 程ヶ谷ゴルフ倶楽部スタート
OUT 3 組
I N 3 組

~~~~~  
4 月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

~~~~~  
国際交流事業  
~~~~~  
ハノーバー・メッセ 2019 研修視察団

開催日 4月2日(火)～11日(木)
参加者
団 長 南 暢(バルカー)
副団長 仙田 雅晃(廣瀬バルブ工業)
団 員 花岡 宣明(廣瀬バルブ工業)
〃 森脇 渉(日本アキュムレータ)
〃 池ヶ谷 勇登(日本アキュムレータ)
〃 和田 章裕(日東工器)
〃 稲子 徹哉(日東工器)
〃 三尾 里沙(三尾製作所)
〃 植田 強(大久保歯車工業)
〃 小花 歩夢(フジサンケイビジネスアイ)
〃 成田 晋(日本フルードパワーシステム学会)
添乗員 尾谷有里奈(ベストワールド)

ISC 国際統計委員会、国際サミット会議

開催日 4月3日(水)
参加者(国際委員会)
委員長 新開 諭(甲南電機)
委 員 澤田啓支朗(タイオンテクノロジ)
〃 渡部 圭次(経済産業省)

(標準化事業/規格事業)

JIS 原案作成本委員会
開催日 4月4日(木)
出席者
委員長 北川能(東京工業大学)
委 員 香川利春(空気圧工学研究所)
〃 渡邊康博(日本規格協会)
〃 大槻文芳(日本工作機械工業会)
〃 長谷川務(トヨタ自動車)
〃 菊地治彦(東芝機械)
〃 高橋正和(日立建機)
〃 中野喜之(パナソニック)
〃 町田哲治(東京計器)
〃 増尾秀三(CKD)
〃 渋谷文昭(東京計器)
〃 門間崇宏(コガネイ)

空圧信頼性分科会

開催日 4月12日(金)
出席者
主 査 中曾根祐司(東京理科大学)
委 員 妹尾満(SMC)
〃 佐々木政彰(アズビル TACO)

空気圧制御技術分科会

開催日 4月17日(水)
主 査 渡辺敏之(TAIYO)
委 員 楊春明(SMC)

〃 金子幸夫(コガネイ)
〃 鈴木一成(妙徳)

油圧システム分科会

開催日 4月19日(金)
出席者
主 査 町田哲治(東京計器)
委 員 山本裕(ボッシュ・レックスロス)
〃 中川幸隆(川崎重工業)
〃 土岐一巳(東京計器)
〃 久保光生(不二越)
〃 城ヶ崎正生(豊興工業)

空気圧システム分科会

開催日 4月24日(水)
出席者
主 査 増尾秀三(CKD)(代理)
〃 張本護平(SMC)
〃 佐々木政彰(アズビル TACO)
〃 上間丈司(クロダニューマティクス)
〃 吉田典世(甲南電機)
〃 鈴木一成(妙徳)

空気圧調質機器分科会

開催日 4月25日(木)
出席者
主 査 國崎雄嗣(CKD)
委 員 三村岳(SMC)
〃 出澤大(クロダニューマティクス)
〃 土岐真人(コガネイ)
〃 阪上隆之(甲南電機)

水圧システム分科会

開催日 4月26日(金)
出席者
主 査 大林義博(KYB)
委 員 細井浩平(堀内機械)
〃 鳥居良介(阪上製作所)
〃 松村悠太(阪上製作所)

(技術調査事業)

技術委員会空気圧部会第558回特許分科会

開催日 4月19日(金)
出席者
幹 事 細田一也(CKD)
委 員 井野雅康(SMC)
〃 河野喜之(甲南電機)
〃 今野英俊(コガネイ)

(広報・PR 事業)

第 96 回編集委員会

開催日 4月12日(金)

出席者

委員長 手塚 隆 (KYB)

副委員長 水野純一 (CKD)

WG 主査 宮 能治 (KYB)

顧問 北川 能 (元東工大)

委員 小辻一雄 (コガネイ)

〃 佐藤俊明 (SMC)

〃 豊田敏久 (川崎重工業)

〃 東川智信 (TAIYO)

〃 松島嘉則 (阪上製作所)

〃 宮坂 篤 (油研工業)

〃 諸橋 博 (東京計器)

(中小企業関連事業/その他事業)

第 1 回中小企業委員会

開催日 4月24日(水)

出席者

副委員長 杉村登夢 (日本アキュムレータ)

委員 山本将人 (オックスジャッキ)

〃 澤田啓支郎 (タイオンタショナル)

〃 渡部圭次 (経済産業省)

WG 桐生邦彦 (オックスジャッキ)

〃 星 蔵貴 (神威産業)

〃 森田勇一 (大生工業)

〃 岸上宜憲 (日本オイルポンプ)

〃 保坂淳一 (理研精機)

代理 越湖修二 (マツイ)

〃 藪中直貴 (堀内機械)

〃 古賀尚也 (南武)

(振興対策)

空気圧本部会

日時 4月17日(水)

出席者

部長 湯原真司 (CKD)

副〃 小倉浩史 (SMC)

幹事 中村賢次 (ニューエラー)

会計 長谷川靖 (甲南電機)

委員 川端啓之 (アズビル TACO)

〃 安藤 進 (オリオン機械)

〃 小西正幸 (クロダニューマティクス)

〃 富田英樹 (コガネイ)

〃 澤田啓支郎 (タイオンタショナル)

〃 柚木弘司 (日本精器)

シリンダ部会

日時 4月18日(木)

出席者

委員 米田正晴 (TAIYO)

〃 吉富英明 (南武)

〃 増井文雄 (日本シリンダ共同事業)

〃 沢辺 充 (三尾製作所)

〃 小泉 清 (油研工業)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<4月>

2日(火)~11日(木)

ハノーバー・メッセ研修視察団派遣

3日(水)

・ISC 国際統計委員会/国際サミット会議

4日(木)

・標準化(委) JIS 原案作成本委員会

12日(金)

・平成30年度 業務・会計監査

・標準化(委) 空気圧信頼性分科会

・広報・PR(委) 編集委員会

17日(水)

・標準化(委) 空気圧制御技術分科会

・振興対策 空気圧本部会

18日(木)

・振興対策 シリンダ部会

19日(金)

・第86回理事会

・標準化(委) 油圧システム分科会

・技術委員会空気圧部会第558回特許分科会

24日(火)

・標準化(委) 空気圧システム分科会

・中小企業(委) 中小企業委員会

25日(水)

・標準化(委) 空気圧調質機器分科会

26日(木)

・標準化(委) 水圧システム分科会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
